



H A S H I K A M I

2012年(平成24年)

No.9

5月号(May)

はしかみ 議会だより

はしかみ
「復興元年」



02 3月定例会

04 主な新規事業

06 ここが聞きたい

「待ちに待った町民プールオープン！」



がんばろう階上
がんばろう東北

第1回 3月定例会

平成24年第1回定例会を3月9日開会し、3月16日閉会しました。
今回の議会では、報告2件、専決処分1件、条例制定2件、条例の一部改正9件、条例廃止2件、補正予算6件、新年度予算6件、その他7件、計35件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で可決。

24年度当初予算編成にあたって

町長 施政方針 (要旨)



確実な復旧と復興を目指し、『忘れるな あなたを守る 地球の絆』を合言葉に、町民・議会・行政が丸となり、これまで培った協働のまちづくりの精神を十分に発揮しながら、施策を展開していく。

24年度は「復興元年」と位置付け、「復旧から復興へそしてさらなる発展」を目指し、震災復興計画に掲げた施策の実現並びに、さらなる町の発展と持続可能な町政を目指し、右の事業に重点を置き予算編成した。

- 一、復旧・復興に対する施策
- 二、地区まちづくり計画の推進による協働のまちづくり
- 三、階上早生そばのブランド確立と地域活性化の拠点体制づくり
- 四、環境負荷軽減に対する施策
- 五、借入金残高の減少と基金残高の確保

条例の制定・改定・廃止

■ 条例制定

▽階上町東日本大震災復興交付金基金条例の制定

▽階上町東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定

■ 条例の一部改正

▽町税条例等の一部改正

▽地方税法一部改正のため。住民集会所条例等の一部改正

▽住民集会所の一部を廃止するため。住民集会所の一部を廃止するため。

▽廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
不燃物最終処分場廃止のため。

▽介護保険条例の一部改正

第5期介護保険事業計画に基づき、平成24年度から平成26年度までの保険料率を改正するため。

▽火入れに関する条例の一部改正

気象用語の改正のため。

▽放牧場条例の一部改正

放牧牛個別の状態を考慮し、使用料について所要の改正をするため。

▽道路占用料等徴収条例の一部改正

道路法施行令の一部改正等のため。

▽町営住宅設置及び管理条例の一部改正

公営住宅法の一部改正のため。

▽公共下水道事業区域外流入受益者分担金条例の一部改正
下水道法の一部改正等のため。

■ 条例廃止

▽畜産総合対策事業基金条例の廃止

家畜導入事業終了のため。
▽東部地区海産物及び西部地区農産物加工施設使用料徴収条例の廃止

海産物簡易加工処理センター内及び、わっせ交流センター内に整備されるため。

平成23年度一般会計補正予算 1億176万円を減額

【一般会計】

歳入（収入）は、県支出金・繰入金・町債などを減額し、町税・地方交付税・国庫支出金などを追加。
歳出（支出）は、総務費・民生費・農林水産業費・災害復旧費などを減額し、消防費・諸支出金を追加。
予算総額を62億6,987万円とした。

【特別会計】

国民健康保険	△5,533万	円
漁業集落排水事業	△97万1千	円
介護保険	81万4千	円
公共下水道事業	△265万7千	円
後期高齢者医療	△159万8千	円

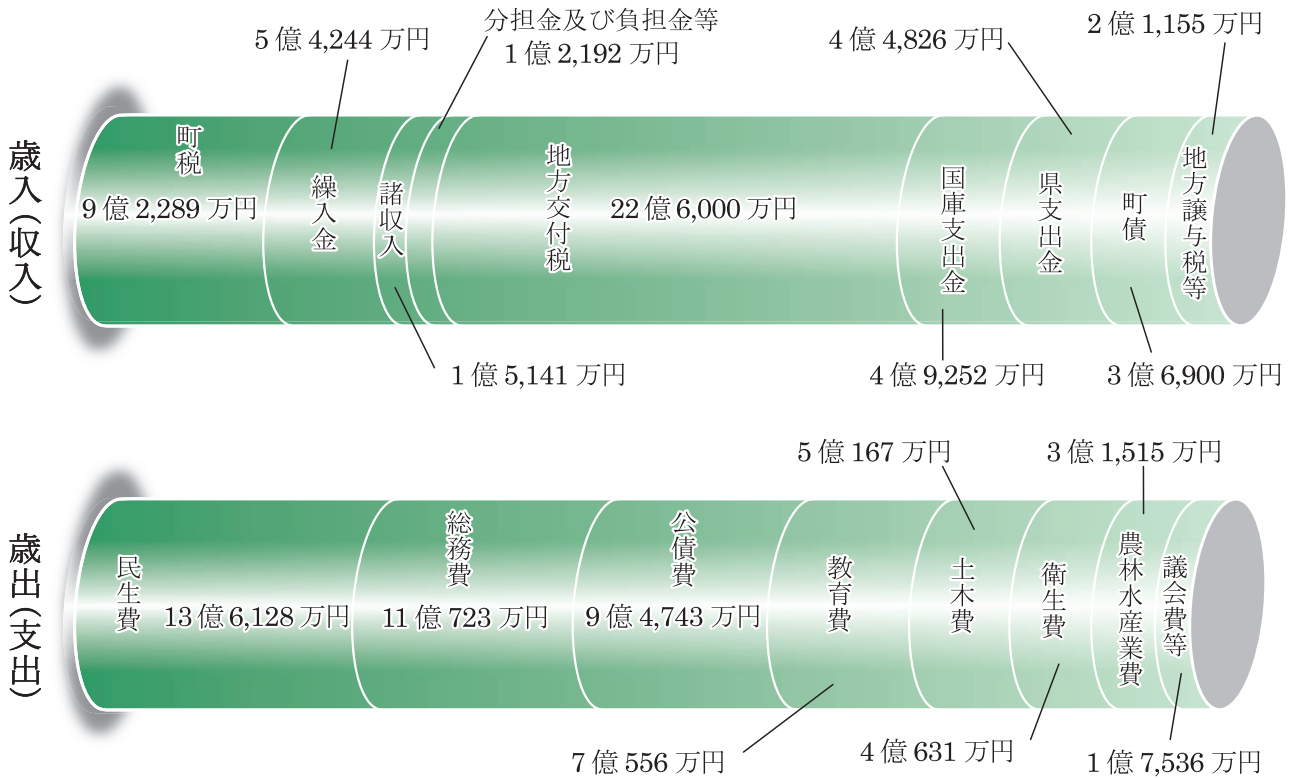
平成24年度当初予算

総予算86億3,919万4千円を可決

一般会計 前年度比2.0%減 55億2,000万 円
 特別会計 前年度比0.2%減 31億1,919万4千円

(下グラフは千円単位四捨五入)

一般会計予算の内訳



議会費

9,771万円

952万円

議員報酬	3,884万円
職員給料	952万円
共済費	2,534万円
その他	2,401万円 (議員県外視察研修、各種負担金等)

	24年度予算額	前年度比増減額
一般会計	55億2,000万 円	△1億1,000万 円
特別会計	国保健康保険	18億 51万4千円 △93万5千円
	漁業集落排水事業	6,364万5千円 1,830万1千円
	介護保険	9億7,586万9千円 2,864万2千円
	公共下水道事業	1億8,946万4千円 △5,271万5千円
	後期高齢者医療	8,970万2千円 △55万4千円
合計	86億3,919万4千円	△1億1,726万1千円

(詳しくは広報はしかみ4月号をご覧ください)

新規事業(抜粋)	
◆公共施設案内看板設置工事	1億3,300万円
◆障害児通所支援事業	1億2,600万円
◆子どもための手当	1億9,500万円
◆被災海城種苗放流支援事業	1億9,200万円
◆むらおこし総合活性化事業	5,000万円
◆被災者住宅再建支援事業	1,300万円
◆河川等維持保全事業	1,000万円
◆原子力・エネルギー教育支援事業	2,300万円
◆町民体育館床等改修事業	4,790万円



主な新規事業



大蛇地区集会所移転新築

(大蛇・追越・荒谷3地区合同利用)

事業費

1億3,617万円

東日本大震災による津波で流失した大蛇集会所を移転新築します。大蛇・追越・荒谷の3地区が合同で利用する集会所です。災害時などの指定避難所としての役割も担います。



大蛇地区集会所建設予定地（大蛇駅付近）

わっせ交流センター

(旧登切小学校)

管理費

1,785万1千円



4月29日にオープンした「わっせ交流センター」

廃校施設を活用した事業の先駆けとなる「わっせ交流センター」。階上早生そばブランドの確立と地域の活性化へ向けた拠点となります。

防災倉庫設置

事業費851万8千円

災害発生対応用食糧

食糧費 30万8千円



災害などに備え、発電機やランプ、アルファ米や乾パンなどの非常災害用食糧を保管・備蓄する倉庫を庁舎敷地内に設置する。

現在保管場所として使用している旧診療所

事業費
8,628万4千円

道仏公民館整備

道仏公民館の耐震補強および改修をし、指定避難所としての機能強化をします。



耐震補強・改修をする道仏公民館

一般
質問

ここが聞きたい

3月定例会では5人の議員が登壇し、町側の考えをいただきました。要旨を掲載しています。



林 貢 議員

Q①

寺下周辺には、観音はもちろん灯明堂、日本最少の五重の塔跡地、そして今は種差海岸階上岳県立公園を含んだ「新三陸復興国立公園案」が出ている。このような時にこそ、第一次基幹産業である農林漁業の他に観光産業が重要な役割を担ってくる。観光面も整備し、階上町を観光の町として推進する必要があると考えるが。

A①

町長 階上町観光協会では昨年、五重の塔跡地に、五重の塔復元模型写真の看板を設置。跡地周辺は、地域の協力により下刈りをし、景観整備を行ってきた。そこに通じる山館前公園からの道路は砂利補修を行った。24年度は、五重の塔跡

観光地(寺下周辺)の整備は

町長/24年度は五重の塔跡地・灯明堂への指標看板の設置を予定

地と灯明堂への指標看板を設置する予定。

Q②

現在の民族資料館は老朽化が著しく、保管されている埋蔵文化財や民俗資料の保存状態は良好ではないが、文化財の保存、活用について観光的な面だけではなく、教育的財産

A②

の面からも寺下地区に資料館を建設してはどうか。町長 用地確保も含め、かなりの事業費が必要であり、既存の施設を有効活用することが財政的負担も少ないことから、新たに寺下地区に建設することは無理があると判断している。



五重の塔復元模型写真看板

A②

教育長 民族資料館の新設は、厳しい財政状況のもとでは負担も大きく、大変難しい。旧金山沢小学校を現在

復旧・復興の現状と今後の計画は

町長/階上町震災復興計画を策定

Q③

東日本大震災及び大津波による被害の復旧、復興の現状と今後の計画は。実現できる、夢の持てる復興へ進んで行けるよう実行してほしいと考えるが。

A③

町長 24年を復興元年と位置づけ、階上町震災復興計画を策定した。基本目標は「被災者の生活再建」「産業と経済の再建」「災害に強いまちづくり」「インフラ整備」の4本の柱。また、

の利用方法である遺物などの収集施設として、また、遺物の調査施設としての活用であれば、財政的負担も少なく、耐震構造も整っており、貴重な文化財資料の保護の観点から、最良の方法と考えている。

担当部局と教育委員会部局の間で、昨年から内部検討の協議を進めている。

公共施設などの防災拠点やハマの復興など5つの施策を強力に進めるため「重点プロジェクト」と位置づけている。町民が「この町に住んで良かった」と心から思える、安全で安心な暮らしと、活力と潤いのある地域社会を築き上げていくことを目標としている。そのためには、自助、共助、公助の精神や協働の理念とともに、町民が一致団結した結集力が大きな原動力になる。



加藤 祐 議員

漁港を利用し漁業活性化を

町長／有効活用できるように漁協や漁業者と協議検討していく

Q①

3月1日のNHKニュースの中で、町が管理する大蛇漁港、追越漁港、榊漁港を統合する案が検討されていると報道された。

そうであれば、第一次産業である漁業が、衰退していく姿である。漁業活性化のために、漁港を利用した栽培・養殖の「造る漁業」を提案する。町長の考えは。

A①

町長 復興会議で、今後の課題、復興について話し合いが行われたが、放送局が独自に漁港統合をテーマに取材を進め、漁業者もそれに対してインタビューに応じたとのこと。現段階では漁港統合は検討していない。各漁港を活用しながら、水産基盤の整備や施設の有効活用プロジェクト

に向け、関係機関や漁業者との意見集約を行い、合意形成のもと、これからの方向を検討して参りたい。

「造る漁業」は、将来の選択肢の一つとして、新たな試験研究事業の導入をしながら、漁業振興に向け、各漁港の条件に合わせた有効活用を、漁協や漁業者と協議・検討して参りたい。

A①

産業振興課長 第一次産業の水産業は磯根資源ウニ、アワビを貴重な資源として進めている。

24年度は漁協を主体として海藻造林をする予定。災害復興プロジェクトに基づき、今後も漁協・漁業者とも十分検討し、方向性を定めて行きたいと考えている。



柔道授業のようす（階上中学校）

中学校柔道必修化は

町長／十分な安全対策を取らなければと考える

Q②

中学校学習指導要領改訂で、24年度から完全実施と示された中学校武道・ダンス必修化ですが、階上中学校と道仏中学校は柔道を選択。

過去27年間で死者や怪

A②

町長 階上中学校が柔道とダンス、道仏中学校が相撲・柔道とダンスを選択。十分な安全対策を取らなければと考えている。

指導者は、両中学校とも県が実施している柔道研修に積極的に参加。さらに、今回の柔道必修化を聞いて、町内の有段者の方が指導にあたりたいと学校に申し出をしていると伺った。このような志をもつ指導者の方々を支援するための体制づくりを、学校や競技団体とも相談しながら進めて参りたい。

A②

教育長 階上中学校は20年から、道仏中学校は21年からすでに授業に取り入れている。生徒には危険を伴う競技であることを喚起する講義を行い、礼儀作法や危険のない基本動作学習など、安全な実技に真剣に取り組むよう注意しながら実施している。指導者は、実技研修を受けた体育担当の先生や

*TTの先生を複数配置し授業にあたっている。

柔道経験のある指導者を配置できるように、地域の競技団体や柔道経験者などの協力を仰ぎながら、積極的に取り組んで参りたい。

今後は、健康状態の把握、個人の能力に応じた指導、運動の特性を踏まえた指導、設備・用具などの安全点検、事故発生時の対応を重点目標とし安全対策を徹底し、事故のない取り組みを実現していきたい。

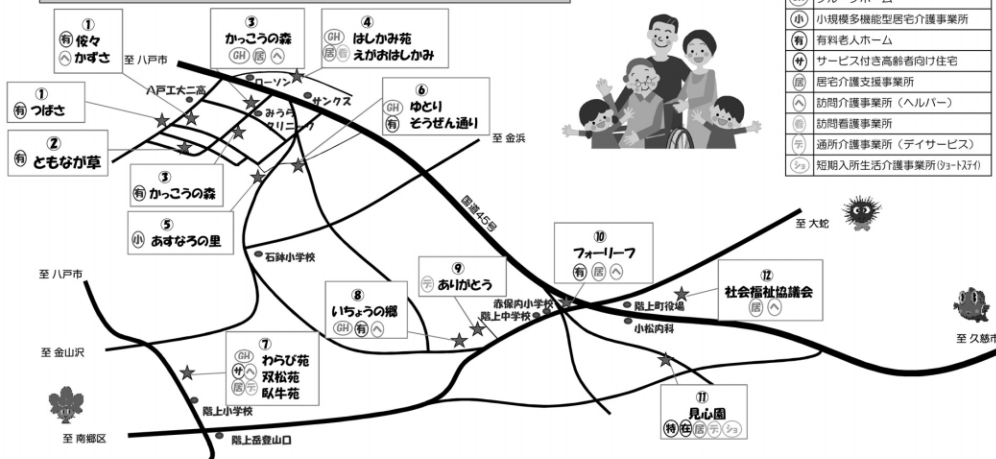
A②

教育課長 町内には沢山の有段者がおられるということで、その方々の協力を得ながら、町としても教育委員会としても、十分検討し安全対策に万全を期して参りたい。

*TT(ティーム・ティーチング)

複数の教員が役割を分担し、協力しながら指導計画を立て、指導する方式。授業をリードする教員と、指導を補充する教員などの役割を担い、複数の教員で授業を進める。

階上町介護関係事業所マップ



- ④ 特別養護老人ホーム
- ⑤ 在宅介護支援センター
- ⑥H グループホーム
- ⑦ 小規模多機能型居宅介護事業所
- ⑧ 有料老人ホーム
- ⑨ サービス付き高齢者向け住宅
- ⑩ 居宅介護支援事業所
- ⑪ 訪問介護事業所（ヘルパー）
- ⑫ 訪問看護事業所
- ⑬ 通所介護事業所（デイサービス）
- ⑭ 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）



郷州公典 議員

地域密着型サービスと他サービスを公平に

町長／関係機関・周辺市町村と連携を図り、介護サービスの充実・強化を図る

Q①

高齢化が進むに伴い、高齢者の福祉・介護が大切になる。国交省を始め各省庁から、福祉や介護が「施設から在宅へ」という方向転換が図られました。

一方、少子高齢化が進み核家族世帯が増加している。また、共働きで介護が困難になってきているのが実情である。

地域密着型サービスと他のサービスとで、不公平なところがあると指摘がありました。

町には通所リハビリ・訪問入浴・訪問リハビリ・短期入所療養介護などがなく、八戸の事業所を利用している。また、地

A①

域密着型共同生活介護（グループホーム）と小規模多機能型居住介護事業所6か所がある。これらの事業所を利用する際、住所限定の規制があり、6か月以上の階上町在住者でなければ利用できない。

この介護保険サービスを、住民が公平に使えるようにしてほしい。八戸市と相互サービスできるように、協定を結んでほしい。

町長 地域密着型サービスは、事業所所在の市町村の被保険者のみが利用可能とされ、それ以外の方が利用を希望した場合は、当該事業所より利用希望者が居住する市町村に対し、新たに指定申請を行うことになる。

申請を受けた市町村は、

Q②

今後増加が見込まれる認知症高齢者や中・重度の要介護高齢者が、出来る限り住み慣れた地域で生活が継続できるよう、関係機関と周辺市町村との連携を図り、介護保険の連携を図り、介護保険の充実、強化を図ってきたい。

地域密着型サービスは、家族の介護負担を軽減する。また、お年寄りが生き生き暮らせる。地域に住み慣れた所で暮らせる。そして良好な家庭関係が保てるのが大きな目的です。

事業所の連携は職員の研修体制の確立ということも大きなテーマになるのではないかと、公平な介護をしていただくことが

事業所所在の市町村と協議を行い、自治体間で当該事業所の指定について同意をすることによって、初めて他市町村の被保険者もサービスの利用が可能になる。

A②

保健福祉課長 介護保険事業においては、階上町付属機関に関する条例で定めている「階上町介護保険推進委員会」。また、設置要綱で定めている「階上町地域包括支援センター運営協議会」「階上町地域密着型サービス運営委員会」これらを同じメンバーが兼任。

介護保険事業はあくまで、町民主体であり町民が利用しやすく、地域福祉の向上に繋がる形となるものであれば、今後検討して参りたい。

一番大事。介護保険計画の進行について管理および点検体系という項目がある。介護保険計画を作るのに、実際取り組んでいる立場の人も委員会に出席できるようにしてほしい。

実際は施設職員が力を合わせて仕事をしている。職員への待遇改善もしなければと思うが。



石川清人 議員

復旧・復興の現状と今後の計画は

町長／策定した「階上町震災復興計画」を順次実施していく

復興基金を活用して参りたい。
四、復興債は政府が発行するもので、町にはありません。

Q①

東日本大震災に
おける、被害の復
旧・復興の現状と
今後の計画は。

- 一、被災された方々の、高台への移転などの計画を話し合われたか。
- 二、同等の津波が来た時、最小限に抑えるための将来的な海岸整備の計画は。
- 三、復旧・復興の委員会はいつ立ち上げ、どのような内容か。
- 四、復興債の内容と予算配分は。

A①

町長 一、被災された方々を全戸訪問し面接を行った方が、高台へ集団移転した方が良いという声は聞かれなかったこともあり、話し合いはもっていない。漁業集落排水処理場は、機械・設備などに被害があったが、建屋は倒壊に

至る重大な損傷がなかったため、早急に稼働する必要があり、現状復旧すべきと判断した。大蛇部会が使用する倉庫は、地元部会や漁協と協議し、大蛇集会所跡地に建設した。

行政としては、災害時の人災防止を第一とし、避難誘導などに最善を尽くして行かなければならないと思っている。

二、国土交通省指定海岸と、漁港区域内の漁港海岸の2種類がある。国土交通省海岸は、県管理の小舟渡海岸と榊・大蛇・道仏海岸が、海岸保全区域に指定。

漁港海岸は、県管理の小舟渡海岸と町管理の榊・道仏・大蛇漁港海岸があり、必要性の高いところから順次整備してきた。県の検討会の結論を踏

まえ、遠浅や入江など地形に応じた津波対策を検討するなど、国県の指導を受けながら、今後の海岸保全計画に反映させていく。

三、第1回を1月20日に開催。関係行政機関の職員、産業団体の役員または職員、町民代表などの協力により、計32名の委員で構成し、第2回を1月27日に開催。その後、パブリックコメントを2月10日まで行った後、階上町震災復興計画として策定した。

内容は、「被災者の生活再建」「産業と経済の再建」「災害に強いまちづくり」「インフラ整備」を基本目標とし、「災害に強いまちづくり」「公共施設等の防災拠点化と情報伝達体制の強化」「八マの復興」「津波被害の

軽減」「多様な連携体制の整備」の5施策を「重点プロジェクト」として位置づけ、順次実施していく。

「コミュニティ施設の今後の計画は

町長／協議し、方向性を見出していく



Q②

コミュニティ施設（階上駅）の今後の計画は。

一、1月31日の協議会で、東部地区の方々何名に案内を出し、何名が出席されたのか。

二、調査費は、23年度に450万円ほどの予算をみていたが、いくらかかったのか。また、その実施内容は。

三、24年のスケジュール（用地測量や不動産鑑定）と実施内容は。

四、完成後の管理者制度

A②

町長 一、東部地区の代表である議員並びに区長の皆様12名に出し、9名が出席。

二、施設を整備するための前提条件の整理や計画を策定するための条件整理を基に、計画案を作成。

支障物の調査並びに調査に必要な基礎資料とするための計画区域の測量を実施。

これらの調査に要した費用は、当初の予定よりも安く406万5千696円。

三、調査報告書に基づき、このままの内容を受け、事業を進めて行くことは、財政的にも厳しい状況でしたので、協議が必要と考え、当初予算には事業費を計上していない。

町としての意向を集約した上で、JRと協議する。四、建築の方向性が決まった上で、早急に具体的な検討を進めたい。

議会と再度全員協議会で協議することになっている。その中で、方向性を見出して行きたい。



階上駅（無人駅）



浜谷 貴樹 議員

Q①

各地区の集会所
施設は、地域のコ
ミュニティの場と
災害発生時の避難所とし



避難所としても使われた榊集会所

ての役割がある。
駅前・榊地区の集会所
は老朽化が激しく、耐震
補強もされていない。

駅前・榊地区集会所(施設)の整備計画は

町長／地域にとって最良な方法を検討していく

駅前・榊地区の交流の
場、避難所としての防災
拠点の役割を果たす施設
が必要だと思う。
浜手地区全体の避難場
所として、道仏公民館の
役割が大きくなると思う。
新年度は道仏公民館改修
計画があるようだが、集
会所の点も含め、検討し
てほしい。

A①

町長 集会所は、
平時時は町民が安
心して利用できる
よう、また、災害時は避
難所や防災拠点施設とし
ての機能確保の観点から
も、耐震性のある安心、
安全、快適に利用できる
施設として、いづれ改築
が必要と考える。
駅前・榊地区の施設整
備は、地域住民の意見を
伺いながら、地域にとつ
て最良な方法を検討して
参りたい。

道仏公民館改修費の予
算計上をしているが、現
在の計画がある以上、難
しいが、駅前・榊地区集
会所の現状と将来的なこ
とも含め、今後検討して
いくことになると思う。

沿岸漁業再生の将来構想は

町長／漁協と連携しながら漁業再生を図る

Q②

昨年は東日本大
震災により大きな
被害を受けた。特
に沿岸の公共施設・漁業
施設・大蛇集会所・漁業
集落排水処理場などの損
壊や水産資源が流失した
施設などは大分復旧した
が、水産資源の再生には
今後、かなりの時間がか
かると思われる。
漁業は町の基幹産業、
今後の沿岸漁業の構想と
復興について、どう考え

ているか。

A②

現在大蛇地区において、
漁業集落排水処理場が稼
働しているが、他の沿岸
地域に拡大させるなどの、
海の環境保全対策は、
町長 本町の漁業
は磯根漁業。特に
ウニ、アワビが主
である。
その資源の確保と保護
の観点から、漁協に対し
稚ウニとアワビの稚貝の
放流を支援したところで、



復旧した大蛇地区漁業集落排水処理場

24年度も継続する予定。

その他、漁業振興策と
して、「どんご祭り」の
開催により、観光客の誘
客や階上海産物のPR、
復旧した海産物加工施設
を活用し、漁協女性部の
加工品づくりなど、漁協
と連携しながら漁業再生
を図って参りたい。

海の環境保全対策は、
現在公共下水道事業整備
を進め、個々の家庭で、
家庭雑排水の排水はしな
いように、合併浄化槽導
入を推進している。
当面は、公共的な処理
施設は難しいと思う。

質疑応答

条例改正

◆住民集会所条例の一部改正

提案理由

集会所の一部平内・大蛇(登切)を廃止するため



鹿原 議員

【質】晴山沢集会所が、載っていないのはなぜか。

【答】このまま集会所として活動するなら、指定管理料を払う必要があるのでは。

【質】総務課長 地区の都合により、24年度いつぱいそのまま使いたいという意向で、今回は載せていない。

【答】出来るだけ速やかに移行できるよう、地区の方にお願ひしていく。

本来なら、この条例と一緒にやるべきだと思う。

3月定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

24年度一般会計予算



林 議員

◆除雪ドーザ更新

【質】計上理由と運用方法として既にある重機などの関連と運用・管理は。

【答】建設課長 修繕費が高んでいるため、国の予算をいただき、更新する運用は業者などに委託。

【質】既にある重機グレーダは除雪以外に、砂利補修にも使用。ダンプは主に幹線道路の除雪作業に使用。

【答】有効活用し、町民の足の確保に努めてほしい。



石川 議員

◆防犯灯設置費

【質】成果目標の電気料の軽減とは。

【答】保証期間や故障した時町の負担はあるのか。

【質】町民課長 一灯当たりの交換で、30%以上の軽減になると考える。保障期間は、業者と行政区との話で、こちらでは把握していない。

【質】修繕費は、軽微なものは行政区で負担。全部取り換えなければならぬものは、相談していただければ善処する。

【質】太陽光発電パネルを使った外灯を考えてほしい。

◆わっせ交流センター管理費

【質】計上費の内容は。

【答】総務課長 主なもので、需用費が862万8千円。電話・火災保険料が65万1千円。役務費が98万5千円。委託料が859万1千円。備品類が405万1千円。

◆道公民館整備事業費

【質】震度いくらまで耐えられる強度なのか。

【答】教育課長 建築基準法の中の、震度いくらの設計かは把握していない。

【質】どのくらいまで耐えられるのか分ければ、避難する町民も安心だと思つ。

◆緊急通報体制等整備事業費

【質】事業内容の委託料とは。

【答】保健福祉課長 ひとり暮らしの高齢者に対する、緊急時の安否確認や健康状態の確認を行うため、定められた緊急連絡員が駆けつけるというものの。

【質】固定通報機ではなく、もっと良い別な方法を考えてほしい。



山田 議員

◆にぎわい広場指定管理費

【質】昨年度の管理費から20万円減額した理由と、太陽光発電パネル設置後、電気料金はいくら下がったのか。

【答】また、今後の自然再生エネルギーに対しての考えは。

【質】産業振興課長 23年の太陽光発電電量(1万373・5キロワット)を電気料に換算すると約14万円。ランニングコストは約6万円。合わせて20万円となり、その分を減額。

【質】22年度の電気料金は、527万5千803円、23年度は、526万6千504円。単純比較で、9千299円の減。(但し、同一条件の比較ではない)

【答】町長 自然再生エネルギーの目的の成果が発揮できるよう、消費面においても気を付け、管理運営面で取り組んでいきたい。

【質】設置費用を下げる努力と、国・県からの補助金を増やしてほしい。



畑中 議員

◆財産管理費

【質】町有財産活用等検討委員会の審議事案は何か。

【答】旧金山沢小学校跡地などは予算化されていないが、どうなったのか。

【質】総務課長 24年度に2回、開催予定。審議する案件については、議員の意見を踏まえ、今後、委員会でも検討する。

【質】旧金山沢小学校の借地契約を2年間延長。地権者と、金額の折り合いが付いたら予算に計上する。

【質】前向きに、施設の活用と買取を進めてほしい。

◆わっせ交流センター建設請負費

【質】スタートからの予算累計総額は。

【答】総務課長 1億3、685万円になります。

議会活動

1月

- 4日 町表彰条例表彰式
- 4日 新年互礼会
- 5日 八戸建築組合階上支部総会
- 8日 町消防団出初式
- 8日 町成人式
- 13日 関係機関と商工会役員懇談会
- 20日 第1回階上町復興計画検討委員会
- 23日 郡町村議会議長会定期総会
- 23日 町村長・議会議長行政懇談会
- 25日 全国森林環境税創設促進議員連盟青森県加入市町村議会議長会議
- 27日 第2回階上町復興計画検討委員会
- 27日 町交通安全対策協議会
- 29日 第5分団創設30周年記念祝賀会



2月

- 7日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会臨時会
- 14日 交通事故抑止祈願祭・意見交換会
- 15日 八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟講演会・交流会
- 17日 県議定会定期総会
- 23日 臥牛山まつり実行委員会
- 26日 正部家奨氏青森県褒賞・青森県文化賞受賞祝賀会
- 27日 戸籍電算システム始動式
- 28日 三陸沿岸道路中心杭設置式



3月

- 2日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 4日 南部芸能発表会
- 5日 階上町農業振興審議会
- 6日 議会運営委員会

- 8日 卒業式(道仏・階上中学校)
- 9日 第1回定例会本会議
- 9日 議員全員協議会
- 11日 東日本大震災追悼式復興祈念式典
- 13日 第1回定例会本会議
- 13日 産業建設常任委員会
- 15日 第1回定例会本会議
- 15日 議員全員協議会
- 16日 卒業式(田代小中学校)
- 16日 第1回定例会本会議
- 17日 卒業式(赤保内・道仏・小舟渡・大蛇小学校)
- 19日 町防犯協会理事会
- 19日 階上漁業協同組合総会
- 22日 卒業式(階上小学校)
- 23日 卒業式(石鉢小学校)
- 25日 第1分団屯所新築落成祝賀会
- 27日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 28日 消防本部八戸消防署庁舎落成記念式典
- 28日 学校長並びに教頭送別会
- 30日 町体育協会総会



議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	1月29日	第5分団創設30周年記念祝賀会	3,000円
2	会費	2月26日	正部家奨氏青森県褒賞・青森県文化賞受賞祝賀会	6,000円
3	会費	3月25日	第1分団屯所新築落成祝賀会	5,000円
4	会費	3月28日	学校長並びに教頭送別会	7,000円

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	祝金	1月5日	八戸建築組合階上支部総会	3,000円
2	祝金	1月13日	関係機関と商工会役員懇談会	3,000円
3	祝金	2月14日	交通事故抑止祈願祭・意見交換会	3,000円
4	祝金	3月30日	町体育協会総会	3,000円

編集後記

議会だより単独発行から1年が経ちました。これからも、議会のごきを町民の皆様にはわかりやすく正確にお知らせできるよう、編集技術の向上に努めていきます。
ご意見・ご要望など、どんなことでもお聞かせください。

議会傍聴者数

- ・第1回定例会
(平成24年3月)
- 3月9日 (0人)
- 3月13日 (18人)
- 3月15日 (0人)
- 3月16日 (2人)

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です

